

# ユ-バー-ファ-ル 7

Überfall

清水らくは

Rakuha Shimizu

## ひび割れ

あの日からひび割れに慣れ過ぎてしまった  
簡単に幾つものひび割れを跨いで  
どこまでも進めると思っていた

街はとても静かだった  
以前にも増して静かな気すらする  
壊れたものは補修されている  
壊れてしまったものは撤去された  
街は正常に動いている  
と思っていた

小さな無数のひび割れは

ただ空を見ているわけではなかった

雨の後の生ぬるい水も

黄砂交じりのくすぐつたい塵も

少しずつ少しずつ

吸い込んでいた

少しずつ少しずつ

飲み込んでいた 街を 空を

ひび割れにつまづいた私は、

立ち上がろうとしたができなかった

足が地面の下にある

必至で手を伸ばしたが

そこもひび割れ

体がバラバラになりながら

吸い込まれて飲み込まれていく

私は今 空のひび割れを見つめている

裏側にあつた寄せ集めの世界で

それなりの日々を過ごし始めた

まっさらの地面を

どこまでも進めると思っている

## 鳥の日々

歌えない鳥になった夢を見た歌える日々を夢見て醒めた

ベランダに梅の花びら舞い落ちる隣の庭にタオルが飛んだ

空はまだ正しい城を隠しつつ時折雪を振り撒いている

海中を羽ばたき巡るペンギンは「空のヒトデ」をいつか食べたい

三日月を追い越していくフラミンゴ 昨日の夢を少しこぼした



じっと水車を見てる  
水は同じ方向に流れる  
水車は同じ向きに回る  
繰り返すことに疲れたら  
休むしかないんだね  
逆向きには  
回れないんだね  
僕も

ユーバーファル 7

2018年2月1日発行

発行者 清水らくは

連絡 [rakuha@hotmail.com](mailto:rakuha@hotmail.com)

使用フォント

MS ゴシック

MS P ゴシック

おつとめフォント

Segoe Print

Mistral

うずらフォント